

みんなの県政

1976/3 No.86 富山



特集号・立山に美と力と友情と
成功した **おおやま国体**



大回転に出場した高尾忠義選手が力いっぱいの選手宣誓



皇太子殿下・同妃殿下
15年ぶり富山県へ



◀開会式ではお言葉を述べられた



▶少女選手はうれしさいっぱい(距離競技会場で)



▲スキーセンターを出られて

スキーセンター2階で国体の概要についてご説明を▶

選手とご歓談も

皇太子ご夫妻「おおやま国体」へ



コース横で大回転をご覧に

みんなの県政
1976・3・もくじ

皇太子殿下・同妃殿下15年ぶり富山県へ	1
「おおやま国体」開幕	6
物価と家計簿シリーズNo.33	16
トピックス1月1日～31日	18
県政バス—ふるさとバスことしも発車—	20



機械工場でスクリー製作を熱心にご覧になる▶



▲お泊所前につくられた雪の雷鳥



◀ 雷鳥やカモシカなどの天然記念物に精通しておられる殿下は、自然保護について鋭いご質問を



2月14日

開会式で激励のお言葉

午前中は、立山町西芦原の中越合金鋳工富山工場をご視察。

開会式場横の立山国際ホテルで昼食をとられたあと、国体開会式へ。全国から集まった選手に、殿下は「持てる力を十分発揮し、生涯のよい思い出となるように」とお言葉を述べられた。

ホテルでは、山小屋経営者や県のナチュラリスト（自然解説員）ら7人の「立山通」と「立山の自然について」をテーマに懇談会をもたれた。

2月13日



富山駅頭にて

歓迎の人波にごあいさつ

皇太子ご夫妻は、14日開会の「おおやま国体」ご出席と県内事情ご視察のため、13日午後国鉄富山駅に降り立たれた。15年ぶりのご来県とあって、駅頭や県庁周辺につめかけた歓迎の人波は約1万人。手を振って応えられるご夫妻に歓声があがった。

この日は、県庁で中田知事から県政概況をお聞きになり、富山市内のお泊所では、県内在住の留学生や、技術研修員として学んでいる県出身海外移住者の子弟とご懇談された。



◀ 県庁ご訪問



南米を訪問されたことのある殿下からは親しくご質問が（ブラジル、アルゼンチン、ペルーの留学生らと）

皇室のご来県

明治11年	明治天皇北陸御巡幸
明治42年	皇太子嘉仁親王殿下(のち大正天皇)行啓
大正13年	皇太子裕仁摂政官(今上陛下)特別大演習行啓
昭和22年	天皇陛下御巡視に行幸
昭和33年	天皇・皇后両陛下第13回富山国体に行幸啓
昭和36年	皇太子ご夫妻第20回全日本産業安全大会に行啓
昭和44年	天皇・皇后両陛下第20回全国植樹祭大会に行幸啓
昭和46年	常陸宮ご夫妻ご来県
昭和47年	秩父宮妃第23回結核予防全国大会にご来県 高松宮にはたびたびご来県

2月16日

県民に感銘残し

4日間にわたり、国体会場をはじめ県内各地をお回りになったご夫妻は、16日富山駅からご帰京された。延べ約7万5千人の県民が歓迎した15年ぶりのご来県は、県民に深い感銘を残した。



◀お見送りの県民に感銘される

▶富山市体育館で、スポーツクラブの婦人たちと



▶青少年の代表と楽しく



◀流杉老人ホームでは、まず特別養護のお年寄りを見舞われた。また、お年寄りの元氣一杯の「おわら」と「こきりこ」の踊り、生花、和裁などのクラブ活動をご覧になった。

2月15日

精力的にご観覧、ご視察

ご夫妻にとってこの日は、大忙しの1日だった。雪の上で「おおよま国体」の各競技をご覧になり午後からは、大山町役場、県立流杉老人ホームをご訪問。民芸品製作ご覧(大山町)、入所者のご慰問(流杉老人ホーム)のほか、県内の青少年とお話し合いになるなど、県民との接触を深められた。



国体会場では男子大回転、複合飛躍、距離の3競技をご観覧になった。次々にゴールインする選手に拍手を送られ、距離競技会場では選手控所に立ち寄って、各県の女子選手13人と親しくお話しになられた。



距離競技会場



◀大山町役場ではワラ工品、手まりづくり、シイタケ栽培の実演をご覧になる

“おおやま国体”開幕

2月14日、与四兵衛平に開会を告げるファンファーレとともに、第31回国民体育大会冬季大会スキー競技会(おおやま国体)が開幕した。

貴賓席には皇太子ご夫妻のご臨場を仰ぎ、8,200人の観衆がつめかけた中を、41都道府県から国体史上最高、1,926人の選手団が入場行進を行い、しんがりを受けて富山県選手団が入場した。

県内の高校生による「君が代」「若い力」「富山県民の歌」の吹奏と合唱。国旗、大会旗、各県旗の掲揚。中田知事、大山町長の歓迎のあいさつ、皇太子殿下からの励ましのお言葉のあと、高尾忠義選手の若々しい宣誓が“立山に美と力と友情と”のテーマを会場いっぱいに響き渡らせた。

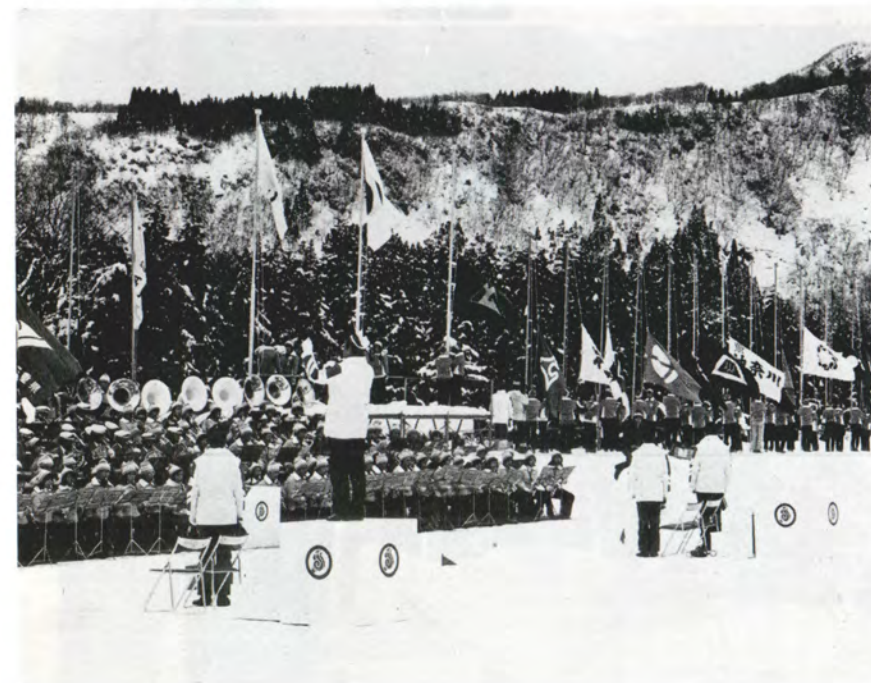


▲あいさつする中田知事

▼大歓声の中を富山県選手団の入場



▲与四平衛平に集合した史上最高の選手団



◀県内の高校生の吹奏と合唱の中を各県旗の掲揚

▶拍手を送られる皇太子ご夫妻の前を次々と滑り降りる(大回転)



熱戦の火ふた切る

2月15日

競技初日の15日、極楽坂、栗巣野の両会場で、男子大回転、複合飛躍、距離女子5*の各競技が一斉に行われた。

あいにくの雨で北陸特有のベタ雪になり、競技本部は早朝からコース整備に出動。

しかし日曜日とあってか観覧につめかけた県民の数は8,300人にふくれあがり、皇太子ご夫妻も雪上車で大回転コースへ向かわれた。

この日、本県選手は6種目に12人が出場、早くも3人が入賞。複合競技教員男子2部の篠村幸夫選手が、ジャンプで2位以下を大きく引き離して1位に立つ活躍をみせた。



◀栗巣野会場では女子の距離5*。競技が行われた

▼競技運営の影の力となった自衛隊からの支援団



◀観衆に向って舞い降りる瞬間「篠村先生がんばれ」の横断幕も

▲「スキ一の華」ジャンプの豪快な飛行(複合飛躍)

大健闘した県選手陣

総合9位の原動力に



◀ 県勢躍進のしんがりを受け純飛躍教員男子二部優勝の最上満選手



▶ 大回転教員女子二部の菅生根子選手



▲ 県選手団62名の入場行進



▲ 昨年の富良野国体(教員1部)につづき2連勝を成し遂げた中村昭夫選手(大回転教員男子2部)



県選手中まっ先に優勝を決め、県勢躍進の口火をきった▶ 篠村幸夫選手(複合教員男子2部)



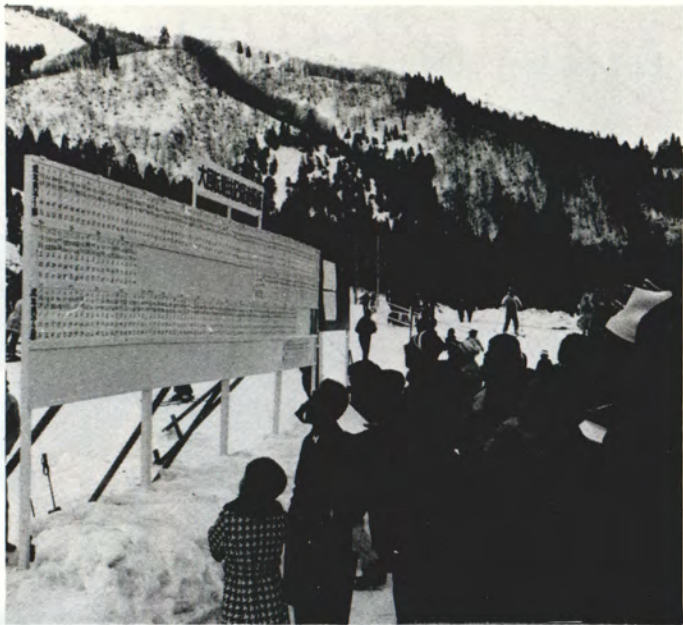
◀ 実力を発揮し優勝を決めた山中茂選手(大回転教員男子1部)

富山県選手入賞一覧

順位	種目	種別	選手氏名
1位	大回転	教男1部	山中茂
	大回転	教男2部	中村昭男
	純飛躍	教男2部	最上満
	複合	教男2部	篠村幸夫
2位	大回転	少年男子	高尾昭寿
	15 km	教男2部	吉越明
	大回転	教員女子	菅生根子
3位	15 km	教男1部	池村直人
4位	大回転	教男4部	尾原呷夫
5位	大回転	教男3部	池田実
6位	大回転	成男2部	佐伯松雄
	15 km	成男2部	島田健治
	5 km	教員女子	岩瀬真知子
7位	15 km	成男3部	山田友一
9位	15 km	教男4部	天池信一
	リレー	成年男子	島田健治/池村直人/水戸康博/吉越明/山田友一
10位	15 km	成男3部	横井敏夫
	5 km	成女1部	松田春代
	リレー	女子	木下百合江/松田春代 藤井美智代/高尾由香里



▲ 移動郵便局も出勤



記録速報板に集まる観衆▶



▲ 大好評だった国体メニュー（選手団宿舎）

競技の周辺



大回転の計時にも熱がこもる▶



◀ 女子大回転

富山勢、この日10人入賞

16日は、男女大回転、男子距離15*。が行われた。

極楽坂、栗巣野両会場に終日雨が降り、午前中は濃霧という最悪のコンディションだったが、県選手の活躍はめざましかった。まず篠村選手が初優勝をもたらし、2位になった菅生根子（大回転教員女子）、吉越明（距離15*。教員男子2部）両選手など、10人が入賞した。



初優勝をもたらした篠村幸夫選手の力走



▲ リレー競技一斉にスタート



▲ 北海道男女総合28連勝をはたしブロンズ像を手中に

北海道、男女総合 女子総合とも手中に

8	7	6	5	4	3	2	1	順位
4	5	6	7	8	9	13	16	得点
東京 都	岐 阜 県	山 形 県	新 潟 県	秋 田 県	長 野 県	青 森 県	北 海 道	都道府県名

男女総合成績

8	7	6	5	4	3	2	1	順位
4	5	6	7	8	10	10.5	14.5	得点
東京 都	埼 玉 県	山 形 県	岐 阜 県	秋 田 県	長 野 県	青 森 県	北 海 道	都道府県名

女子総合成績



▲ 2連勝をはたし、生徒にかこまれる中村昭男選手
▼ 「がんばれ最上先生」

県選手団は、最終日も各種目で活躍した。大回転の成年男子教員一部で山中茂選手が初優勝、同二部で中村昭雄選手が二年連続の優勝をとげた。また、純飛躍成年男子教員二部の最上満選手が富山県勢四つ目の優勝をもたらした。リレーも成年男女とも入賞し、結局、全競技で個人入賞17人、男女総合成績九位となり、当初の目標を達成した。

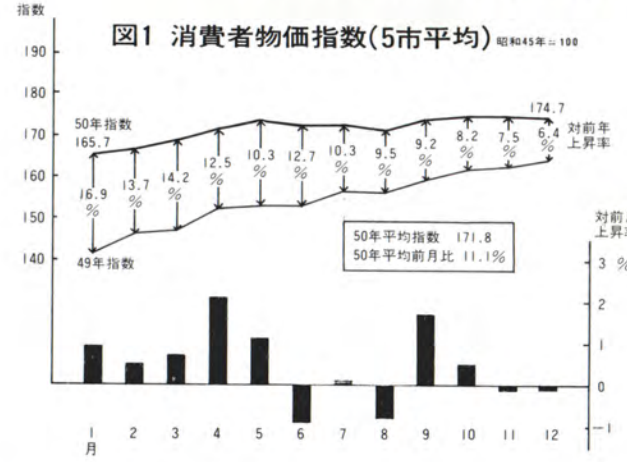


▲ 選手を追うジャンプ審判員



消費者物価1年の動き

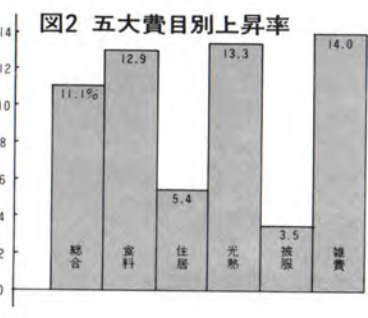
—昭和50年県内5市平均—



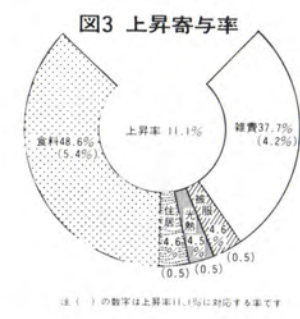
●あらし
前年に比べ一・二割上昇
昭和五〇年の県内五市(富山・高岡・新湊・魚津・砺波の各市)の平均消費者物価指数は、一七・八となり四九年に比べて一・一割の上昇となりました。

●月別の動き
四月・九月に大幅上昇
一・五月は、野菜・果物などの季節商品や教育費の値上がりで各月とも上昇しました。特に四月は、二・二割の大幅上昇と

●寄与率
食料費の影響が最大
各費目が総合上昇率一・一割にどのように影響したか(これを寄与率といいます)をみる



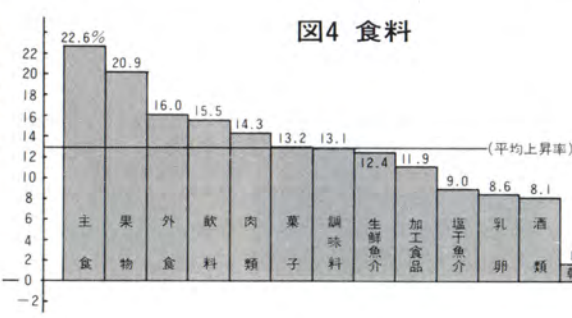
四九年が二四・七割と異常に上昇したのに比べると上昇率では半分以下となり、ほぼ四八年並みとなりました。しかし、四七年以前と比べるとかなり大幅上昇となり、三年連続して十割台の上昇率を記録しました。



●費目別の動き
食料―主食の上昇が最高
食料指数は、一七八・〇で前年に比べ一二・九割の上昇となりました。項目別の上昇率をみると、主食が二一・六割、果物が二〇・九割と二割をこえて

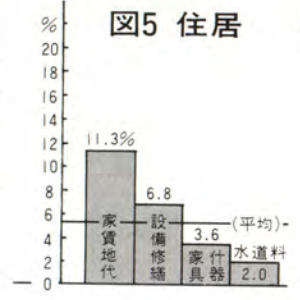
●寄与率
食料費の影響が最大
各費目が総合上昇率一・一割にどのように影響したか(これを寄与率といいます)をみる

六・八月は、肉類・塩干魚介が値上がりしたものの、野菜・果物の値下がりでは安定した動きとなり六月には、十か月ぶりに前月を下回りました。



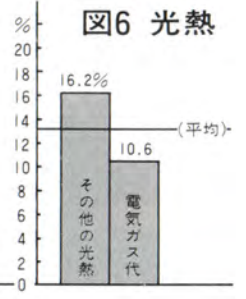
と、全体を二〇割として食料が四八・六割で最も多く、ついで雑費の三七・七割、被服・住居・光熱がそれぞれ四割台の影響を与えたこととなります。

図5 住居



住居―家具什器に落ち着き
住居指数は、一七五・一で前年に比べ五・四割の上昇となり四九年の三三・五割上昇に比べると大幅に低くなりました。特に家具什器、設備修繕は需要の落ち込みを背景に落ち着いています。項目別の上昇率では、家賃地代が一・三割、ついで設備修繕が六・八割の順となっています。

図6 光熱

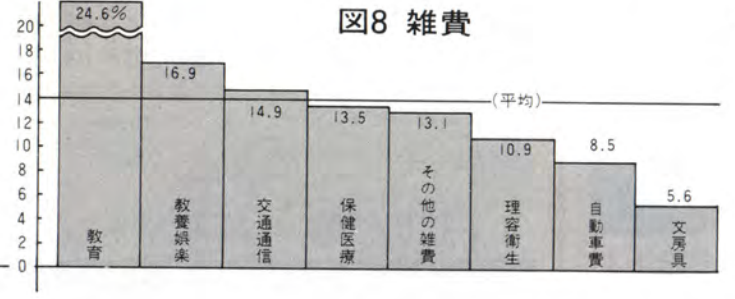


光熱―衣料はほぼ横ばい
被服指数は、一七三・三で前年に比べ三・五割の上昇となりました。各費目のなかでは最も低い上昇となっています。項目別の上昇率では、衣料が二・五割、身の回り品が六・五割の上昇となりました。

図7 被服

雑費―教育が大幅上昇
雑費指数は、一六四・八で前年に比べ一四・〇割の上昇となりました。各費目のなかでは最も高い上昇となっています。項目別の上昇率では、授業料・月謝の値上がりで教育が二四・六割と最も高く、ついで教養娯楽が一六・九割の順となっています。

図8 雑費



富山市の品目別価格(1月分)

品目	銘柄	単位	価格(円)	12月からみただの上昇率(%)	品目	銘柄	単位	価格(円)	12月からみただの上昇率(%)
食パン	普通品	1kg	271	0	みそ	並、袋入(1kg入)	1袋	218	0
即席ラーメン	即席中華めん袋入り	100g	47	0	砂糖	上白	1kg	280	△1.8
あじ	まあじ丸(長さ約15cm以上)	100g	82	0	レモン	1個約110g、「サンキスト」	1kg	617	△25.4
さば	丸(長さ約25cm~35cm)	100g	31	0	バナナ		1kg	166	5.1
いか	するめいか	100g	110	△6.5	ちり紙	白ちり3号、クレープ付	800枚	157	0
牛肉	中	100g	300	0	せんたく用剤	合成洗剤、粒状箱入(2.65kg入)	1箱	653	0
豚肉	中	100g	188	0	ベニヤ板	ラワン材、普通合板、JAS2類1等(182cm×91cm×2.7%)	1枚	310	0
ハム	プレスハム、上	100g	175	0	ワイシャツ(混紡)	カット、ポリエステル混紡アロード80番手、白、普通品	1枚	2,100	0
牛乳	加工乳(200cc入)月極め	1本	51	10.9	せんたく代	綿、ワイシャツ(カット)配達、料金後払い	1枚	105	0
鶏卵	1個約60g	1kg	315	△10.8	灯油	白灯油、詰替売り、配達	18ℓ	738	0.7
キャベツ		1kg	203	74.8	プロバンス	家庭用、10kg、容器代除く	1本	1,500	0
ほうれん草		1kg	306	43.1	自動車	無鉛ガソリン現金売り	1ℓ	113	0
大根		1kg	99	84.0	理髪料	大人調髪(洗髪を含む)	1回	1,675	0
大豆	黄白豆	100g	28	0	パーマネット代	コールド(セットを含む)	1回	3,825	9.3
しょう油	濃口、上・びん詰(2ℓ入)「キッコーマン印」	1本	430	0	バンテイスティング	ナイロン100%、プレーン、サイズM、15~20センチ	1足	200	0

注・生鮮食料品は上・中・下旬の平均価格、その他の品目は中旬の価格です。△印は、マイナスを示しています。

● 県政のうごき — 1月1日～31日

1月5日 ● 自動車安全運転センター 店開き

交通事故証明書の発行など、警察のサービス業務を肩代わりする「自動車安全運転センター富山県事務所」(富山市高島、運転教育センター内)が5日から実際の業務を開始しました。

同センターでは、昨年まで警察が担当していた交通事故証明書の発行のほか、運転経歴証明書の発行や免許停止直前の運転者に対する点数通知などを行います。

これで昨年5月28日オープンの県運転教育センター6月1日の自動車事故対策センター富山県事務所と合わせ3センターが発足、県警では「運転者や県民の安全意識向上に果たす役割は大きい」と期待しています。

1月14日 ● 「おおやま国体」へ向け スキー競技週間開く



「おおやま国体」をちょうど1か月後に控えた14日から19日までの6日間、県内の各スキー競技会が、大山町の極楽坂、粟巣野両スキー場で行われました。

大会運営を円滑にするため各競技会を1週間連続して行うこの「スキー競技週間」。1昨年からは始まったものですが、ことしはさらに県体と県選手権を一本化して16日から開き、14日開幕の県高校スキー選手権ともども、すべて「おおやま国体」に照準を合わせた大会運営となったもの。会場はアルペン、ノルディックとも「国体コース」を使用、競技種目も回転を中止し国体種目の大回転一本に絞り、国体出場選手を選抜するねらいがあるだけに、連日意気盛んな競技が展開されました。

1月14日 ● 成人の日記念表彰 4人、2学級、3団体



14日、成人の日を記念して県内の優良青年、団体の表彰が行われました。表彰を受けたのは個人が9人、団体3、学級(教室)2で、いずれも青年団、サークル活動等を通して地域社会へ積極的に貢献したことによります。

県庁大ホールで岡岡県教育委員長から表彰状を受けとった後、会場を県民会館へ移して、「これからの青年教育と団体活動について」座談会を行いました。

1月15日 ● 県内14,474人が新成人 式典の自主運営も

成人の日の15日、県内で14,474人(男6,981人、女7,493人)が大人の仲間入り。雪の中を各市町村で式典が開かれ、座談会、青年の主張、記念植樹など多彩な行事で成人の門出を祝福、意識調査などで大人として生きるための自覚を促しました。

今年は、青年団や婦人会が女性の服装の簡素化を呼びかけたり、また、地元青年団などと協力して自主運営の式典を行う市町村が目立ちました。



1月16日 ● 県中小企業振興審 中間報告を承認

「今後の中小企業施策の方向」について審議する第2回富山県中小企業振興審議会が開かれ、政策、商業両部会が昨年末まとめた中間報告をそれぞれ承認しました。

両部会の中間報告はいずれも、同審議会として長期的かつ緊急に取り組む課題をとり上げたもの。政策部会では、「激しい競争に耐えぬ力」、つまり企業体質強化のため売れるものを安くつくる必要があると強調、新しい経営姿勢、情報の収集と活用、技術向上の3点を打ち出しました。また商業部会では、「新しい商店街づくり」が急務であり、特に駐車場建設問題に、県、市町村、商店街が一体となって緊急に取り組まなければならないとしています。



1月16日 ● 県農用地利用増進協 を結成

昨年7月の農振法の一部改正により、農地を安心して貸し借りできる制度が設けられましたが、この制度の利用により農用地の効率的利用と経営規模拡大を進めるため、「県農用地利用増進事業推進協議会」が結成されました。また現地で指導・助言してもらうアドバイザーズ・グループをつくり10委員を委嘱、さらにモデル事業地区として新湊市七美、砺波市柳瀬の2地域を指定しました。

1月17日 ● 県教育記念館建設へ 設立委発足

近代教育制度ができてから百年になるのを記念して「富山県教育記念館」を建て、同記念館として行う事業を推進するための財団法人富山県教育記念館設立委員会(理事長中田知事)が17日発足しました。

計画では、富山市千歳町の敷地に地上4～5階建てのビルを約4億円をかけて51年度に建設します。記念館には、学制実施以降の教育資料をそろえ、県教育の変遷が一目でわかるようにする教育百年記念室のほか、

郷土教育先賢功労者顕彰室・教育研究振興室などが作られる予定です。

1月28日 ● 非行年齢下がる

県警が28日まとめた昨年の「少年補導概況」によると、非行にはいる少年の年齢が下がり、非行の内容も恐かつや集団暴行など悪質になっていることがわかりました。とくに女子高校生や、中学生の非行増加が目立っています。犯罪動機では「学校ざらい」「家庭不信」のケースが多く、家出、自殺の増加傾向の中にも現われているとしています。

1月28日 ● おおやま国体県選手団 過去最高の62人に

「おおやま国体」に参加する県選手役員団が28日、県教委と県体協から発表されました。森丘金太郎団長(県教育長)以下役員団10人、監督6人を含めた選手団52人、総勢62人は過去最高。入場行進の旗手は距離のベテラン島田健治選手、晴れの選手宣誓者には地元大山町出身で大回転の高尾忠義選手に決まりました。

選手46人の内訳は、アルペン23人(男19、女4)とノルディック23人(男18、女5)で、28日から粟巣野の山野スポーツセンターを中心に最後の強化合宿に入り、2月10日、県庁で結団壮行式を行いました。

1月29日 ● 史上最大の国体に



「おおやま国体」に、全国41都道府県から、1,926人の選手、役員が参加することが29日決まりました。

この数は、参加都道府県、選手役員とも、当初の予想どおり過去最高。このうち参加都道府県数は、ことしの夏季、秋季の「若楠国体」を控えている佐賀県の冬季国体初参加により昨年富良野国体を1県上回ったもの。また、参加選手役員数は、これまで最高の秋田・田沢湖国体(昭和46年)を17人上回っています。国体事務局では、早速、組み合わせ抽選作業に入りました。



県政バス教室とは

昭和四十五年から始まった県政バス教室はこととして七年目。県内から大きな反響を呼び、昨年度までに、約二万五千人の方々に利用されました。

このバス教室では県の施設やその他の公共施設を見学します。県政への正しい理解と関心を深めていただき、またご意見やご希望をお聞きし、皆さんと県とのつながりを強化するために運行しております。

県政バスに乗るには

①団体または個人で申し込んでいただきます。団体の場合は、バス定員が五十名程度です。責任者の方が五十名取りまとめてお申し込みください。

県内を回られたご夫妻



▶宮内庁へ納入の装飾鑄物の鑄型に感慨深く(中越合金)



▲知事からワラ工品の説明を受けられる(大山町役場)



▶婦人スポーツクラブ員にまじって(富山市体育館)



◀特別養護の老人にやさしく話しかけられる妃殿下(流杉老人ホーム)

②申し込みは「往復はがき」または「電話」で次の項目を。

- ・団体の場合
- 利用団体名・利用者数・代表者氏名・住所・連絡電話番号
- ・集合場所・コース名等
- ・個人の場合
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号・コース名等

③申し込み先は(別表1)へ

④富山・高岡・魚津・砺波に、それぞれ四コース(福祉・土木産業・教育各々を中心としたコースとその混合コース)がある

表(1) 県政バス教室の申し込み先

- 富山市・上新川郡・婦負郡の方は
富山市新総曲輪1の7県庁県民課 ☎(0764)31-4111・31-3131
- 高岡市・氷見市・新湊市・射水郡・福岡町の方は
高岡市赤祖父211高岡地方県民相談室 ☎(0766)21-9411
- 魚津市・滑川市・黒部市・下新川郡・中新川郡の方は
魚津市新宿10-7魚津地方県民相談室 ☎(0765)24-5311
- 砺波市・小矢部市・東砺波郡・福光町の方は
砺波市幸町1の7砺波地方県民相談室 ☎(07633)3-5151

表(2) 「ふるさとバス教室」運行計画

月日	募集人員	コース
4/10	約 100名 (バス2台)	(自然めぐり) 県庁—二上山(徒歩)—県庁
4/17	約 100名 (バス2台)	(自然・文化財めぐり) 県庁—頼成山—平村・相倉—上梨(田向)—県庁
4/24	約 50名 (バス1台)	(文化財めぐり……Aコース) 県庁—杉沢の沢スギ—宮崎鹿島樹叢—境閑跡—不動堂遺跡—彫刻(十三寺)—明日の大桜(法福寺)—愛本ウラジロカシ林—県庁
4/31	約 50名 (バス1台)	(文化財めぐり……Bコース) 県庁—本法寺まんだら—八尾の和紙—閑乗寺高原—瑞泉寺—井波彫刻—高瀬遺跡—県庁
5/7	約 50名 (バス1台)	(文化財めぐり……Cコース) 県庁—専念寺の傘松—銅鐘—勝興寺宝物殿—気多神社本殿—武田家—万葉ライン—高岡漆器センター—県庁
5/14	約 50名 (バス1台)	(文化財めぐり……Dコース) 県庁—浮田家—立山風土記の丘—大岩日石寺石仏—立山寺参道のトガ並木—宮川の大けやき—県庁
5/21	約 50名 (バス1台)	(文化財めぐり……Aコース)
5/28	約 50名 (バス1台)	(文化財めぐり……Bコース)
6/4	約 50名 (バス1台)	(文化財めぐり……Cコース)
6/11	約 100名 (バス2台)	(自然・文化財めぐり) 県庁—宮崎城跡—宮崎鹿島樹叢—杉沢の沢スギ—県庁
6/18	約 100名 (バス2台)	(自然めぐり) 県庁—小見経由—有峰グム(青少年の家記念館)—大和多峠—県庁

りますから、団体の目的に合ったコースが選べます。また、責任者の方と相談し、乗降車に便利なところまで送迎します。

然を見ていただくものです。ふるさとへの関心が明日への希望、仕事への意欲を促し、ひいては、直接、間接に県政が発展することを期待して運行しています。

ふるさとバス教室——申し込み方法が変わります

県内には、たくさんさんの文化財や緑豊かな自然が散在しています。ふるさとバス教室は、県民の皆さんにこうした文化財や自

このバス教室に参加されるには……

- ①官製ハガキに、住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・希望日(別表2参照)を記入し、個人または小グループ(二人〜三人)で富山市新総曲輪の七県庁県民課(四月から広報課に)でご了承ください。
- ②受付は、希望される日の一か月前から十日間とします。
- ③利用者の決定は、抽選により行い、開催日の十日前までに参加整理券を発送します。
- ④バス代は無料ですが、寺や神社の拝観料や入場料が若干あります。また昼食は各自ご持参ください。

推進しよう!

県民ひとり1スポーツ

「おおやま国体」は成功裡に終わった。

県民のスキーへの関心が最高に高まった4日間であった。スポーツの醍醐味を満喫した人も多かったろう。この余韻を、県民ひとりひとりのスポーツ活動に結びつけねばならない。

スポーツが健康や体力の保持増進に効果があることは確かである。「おおやま国体」を契機に、寒さも雪も友として、より明るく、逞ましい県民性へ転換させよう。

毎日の体操は健康に欠かせない
いつでも どこでも



みなさんの県民課から「お知らせ」

みなさんの県民課は、県庁の玄関の右側にあります。県民課は、県民のみなさんのご意見やご希望、ご相談を受け県政に反映する〈公聴係〉と、県の施策をみなさんに一日も早くお知らせする〈広報係〉があって、みなさんと県とのパイプ役としての次のような仕事をしています。

●テレビ「みんなの県政」でお楽しみ下さい。

*北日本放送（KNB）

毎週の日曜日、午前9時から30分間カラー放送
小学生のコーラス紹介、県施策を対談・座談会などでわかりやすく解説しています。

*富山テレビ（T34）

毎週の月曜日から土曜日までの毎日、午後5時45分から5分間カラー放送

県からのお知らせ、一口メモ、若者の広場、みなさんの声などをユニークに放送。

●月刊誌「みんなの県政」は毎月5日頃に発行
県政の施策の解説、生活知識など掲載しています。

●新聞「みんなの県政」は4紙に登載

毎月の最終土曜日に、北日本・富山・読売・北陸中日の各新聞に、県政の最近の動きや身近なお知らせを載せています。

●ご相談ごとはお気軽に県民相談室へ

生活上のご相談、県政への希望、ご意見など、気軽に次の相談室をご利用ください。

富山県県民課

〒930 富山市新総曲輪1の7 ☎(0764)31-4111

高岡地方県民相談室

〒933 高岡市赤祖父211高岡総合庁舎内

☎(0766)21-9411

魚津地方県民相談室

〒937 魚津市新宿10-7魚津総合庁舎内

☎(0765)24-5311

砺波地方県民相談室

〒939-13 砺波市幸町1-7砺波総合庁舎内

☎(07633)3-5151